

エクレシア

2017年度年間テーマ 『「共に」教会を形づくる一恵みへの応答(アクション)ー』
主のみ名を賛美します。9月3日開催された「広木愛牧師就任式・感謝会」の概要、7月27日～31日、旭川で行われた(連)隣人の旅に参加した二人からの報告をご紹介します。

広木愛牧師就任式・感謝会

2017年9月3日(日曜日)15時から広木愛牧師の「牧師就任式」が行われました。

本年度4月から、共に歩み始めた広木愛牧師の就任を喜び、連盟諸教会、近隣の教会の方々をお迎えして就任式・感謝礼拝がささげられました。

就任式・感謝礼拝では、初めに、牧師招聘の歩みが紹介され、招聘の辞、就任の辞、教会の祈りの後、按手祈禱が行われました。本来は、出席者に手をおいて



就任の辞



行いたいところでしたが、協力伝道の交わりを代表し東京地方連合南ブロックから富田愛世牧師、説教者の中條智子牧師、吉高叶連盟常務理事、内藤崇東京地方連合会長、大井教会信徒代表、招聘委員、各会部会代表も加わり出席者全員が手をつなぎ按手と祈りを共にしました。

祈禱は、大井教会を代表し加藤主任牧師、協力伝道の交わりを代表し中條智子牧師が行いました。

続いて、中條智子牧師(長住バプテスト教会)

から「水を汲んだ者は知る(ヨハネ 2:1-12)」と題して説教をして頂きました。教会はこの水を汲

む召使の働きであり、牧師は世話役ではなく、
召使の一人である。主の言葉を伝え仲間を励ます、主の言葉で仲間を支えるものであり、一緒に苦労し神さまの働きを担うものでありたい。そこには水を汲む姿を見ておられ



按手祈禱



中條智子牧師

る主がおられると語られ、新たな献身の時となりました。

最後に、吉高叶連盟常務理事、内藤崇東京地方連合会長から祝辞を頂きました。

牧師就任式に続き、集ってくださった方々と共に交わりと感謝の時を持ちました。司会は山崎響生さんと小石澤麻美さん。響生さんの身長は 184 センチ、麻美さんの身長は 171 センチ。会場のどこにいても、司会のふたりが見えたのではないのでしょうか？



「ふたりあわせて 355 センチのコンビが司会を担当します！」という楽しい挨拶からはじまりました。



司会 355 センチのコンビ

賛美歌は「すばらしいこの日」を歌唱。この歌になじみのない方にも歌ってもらえるようにとスクリーンに歌詞を出し、指揮を担当した古谷健一さんのナビゲートのもと、2回歌われました。

ピアノを担当したのは橋本創太郎さん。大井教会へ転入されたばかりでしたが、準備やりハーサル時からみんなと息がピッタリ合い、感謝会になくてはならない存在です。

「広木先生の『若さ』を考えると、歌のテンポを少しあげたほうがいいのでは？」という提案が出た時にも

即対応していただき、素敵な演奏をいただきました。

広木先生の挨拶に続いて歓談の時がもたれました。すでに人気者の広木先生は、会場のどこにいるのか見つけるのも難しいほどのひっぱりだこ。就任式の荘厳な雰囲気とはうってかわって、ととにもぎやかな交わりの時を過ごしました。

そして、青年少年少女（たちのプロデュースによる「広木先生のプロフィール紹介」



広木先生の昔の写真を見せながら、解説を入れながらその場でインタビューを敢行！結局謎は謎のまま・・・だったような気もしますが、くらいつくその姿勢に若者ならではの勢いを感じました。（ぜひ、今後もみなさん個別に広木先生の素顔にせまってください！）

ここで、プログラム上は「歓迎の言葉」と続く予定でしたが、来賓の皆様の飛行機の時間の都合で、先に「祝辞」をいただくことになりました。まずは田隈バプテスト教会牧師・田中伊策

先生。田中先生のお話で「大井バプテスト教会とはどんな教会なのか」自分たちで

は気づいていない部分について教えていただきました。続いて久留米荒木キリスト教会・橋口真紀子さんと諸隈静さんはこの日のために準備した「久留米にわか」を披露してくださいました。「久留米にわか」とは福岡市無形民俗文化財で『久留米弁を使い会話の最後に面白いオチをつける』というもの。「教会に行こうかな/今日買いに行こうかな」というようなダジャレのようで脳のトレーニングにもなる、就任式にかけたオリジナルのショートコントに、会場は大いに沸きました。



橋口さんと諸隈さんの
「久留米にわか」♪

実は、橋口さんと諸隈さんが「久留米にわか」を披露することを知った田中先生は、「では、自分が先に話して、ストレートにメッセージを伝えますね」と対応してくださったのでした。その場の対応と入念な準備と、硬軟おりませた祝辞に感謝します。



続いて、少年少女役員による歓迎の言葉。これから大井バプテスト教会を共に形づくる広木先生、そしてその広木先生と誰よりも長く形づくっていく少年少女役員。両者の結団式のようにも思える、そんな歓迎の言葉が送られました。

ユース賛美チームによる『心をつなぐ手をつなぐ』さらに会場全体による『君が始まる』

の賛美で、感謝会の盛り上がりはピークに。常々にぎやかで騒がしかった会場も、加藤誠主任牧師による祈祷、神様への感謝、恵みへの応答（アクション）、祈りをもって、静謐の時がもたれました。

就任式直後の撮影や移動などの関係で 10 分遅れでスタートし、途中でプログラムの変更もあった感謝会でしたが、司会の山崎響生さんと小石澤麻美さんによる機転の利いた対応で、滞ることなく、無事閉会。教会の若手を中心メンバーに作られた広木先生の感謝会でしたが、今後「これからの大井バプテスト教会」を形づくる動きに期待が持てる内容でした。

ちなみに、にぎやかに飾り付けられ、写真を撮る人もたくさんいた会場は、閉会からたったの 25 分間で完全撤収！これも「若者のチカラ」のひとつかもしれません。

大井バプテスト教会に与えられた広木愛先生という「神の恵み」にひとりひとりが応え、祈っていきましょう。

(大内勝美・三吉弘晃)



(連) 少年少女隣人に出会う旅・旭川の旅に参加して

高2 寺内杏菜

今回隣人に出会う旅の北海道に参加し、アイヌ民族のことを学びました。

行く前までは北海道にいた先住民族だよ、ぐらいしかアイヌについて知りませんでした。川村カ子トアイヌ記念館に行った際、昔のアイヌ民族の暮らし方や食べ物、そして日本政府から命じられた法令などアイヌ民族についてたくさん知りました。話



してくださった川村さんは訴えかけるように私たちに話してくださり、今までそんなに知らずしてなく、重大なことだと思っていた自分の心にとっても刺さりました。

今の日本は私みたいにアイヌのことをほとんど知らない人の方が多いと思います。だから日本国民全員と言うのは無理がありますが私の身近の人たちからこの旅で得たものを伝道していきたいです。少しでもみんなが知っていきただけできっと何か今後変わっていくと思います。そして、元々知り合いの友達が多かった中で新しい仲間にも出会えたこの旅は4泊5日毎日がとても充実したものでした。北海道のご飯、最高に美味しすぎて食べすぎました。少年少女として最後の隣旅で北海道に行けたことに感謝してこれからも過ごしていきたいと思います。

高2 山崎響生

私が今回行った隣人に出会う旅、旭川の旅で感じたことはアイヌの人たちの優しさ、温かさです。アイヌの人達が迫害、差別などを受けて来たことは知られていますが、漠然と知っているだけではないでしょうか。私も、この隣人に出会う旅に行くまではよく知りませんでした。アイヌの人達は今でも、自分



がアイヌだということを隠して生活している人たちがいる、と聞いて、とっても驚きました。差別は昔の話で今はもう無いものだと思っていました。他にもアイヌを野蛮、劣っていると、勝手なイメージで差別していたと聞き、胸が痛みました。

しかし、私たちが出会ったアイヌの人達はそれに対し、怒るところか、心から歓迎して下さいました。そこに温かさとおやささを感じました。他にも旅のスタッフの方々も優しく、中高生の友達もできて本当に楽しかったです！

大井バプテスト教会

主任牧師 加藤誠 牧師 広木愛 音楽主事 菊地るみ子

〒140-0014 東京都品川区大井5丁目10番12号

TEL 03-3771-6849 <http://www.oibaptist-ch.net/>

広報委員 (大内勝美、柴田江理子、三吉弘晃)